

全国 検数労連

〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2 日港
 福会館 5階
 Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622
 メール roren@kensu.jp
 ホームページ http://www.kensu.jp/
 全国検数労働組合連合
 書記局



11月15日(火) 14:00~14:30 第三回 検数労連22冬季一時金交渉

スト権集約結果91%以上の賛成票を獲得。

一時金は生活補填給。業績より生活を重視した一時金回答を！

【検数労連22冬季一時金スト権集約結果】

地区名	項目	賛成	反対	白紙	棄権	合計
全国	1. 冬季一時金	965	7	10	2	984
	2. 諸要求	964	7	11	2	984
	3. 国民的諸課題	899	7	19	5	984

【スト権集約結果】

10月29日(土)～11月11日(金)までを集約期間とした22冬季一時金スト権について、中央集約した結果、左記の通りの項目と91%以上の賛成票を獲得。高率で確立したことを報告します。

【第3回一時金交渉】

11月15日(火)第3回22冬季一時金交渉で、組合は両協会に対しこれまでの収益状況と一時金回答に及ぶ考え方を披露を求めました。

【全口検】

組合は両協会から現在の収支状況と有額回答に向けた考え方を聞き、次の通り主張を行い、次回交渉(有額回答指定日)での反映を求めました。

【組合主張】

伝えられるような回答については鋭意検討中である。
 配分については従来通りの基本にした回答を考えている。

組合は両協会から現在の収支状況と有額回答に向けた考え方を聞き、次の通り主張を行い、次回交渉(有額回答指定日)での反映を求めました。

このような状況の背景には、長引くコロナ感染症の影響の中で物流の停滞が顕性化しており、主要取扱貨物である書庫・コシナ・鋼材の取り扱いが落ち込んでいるところにある。その一方で、検査事業が好調であったが、落ち込みをカバーしているところまでとは言えない状況である。現在、政府や労使が進めている「パートナーシップ」の取り組みに乗り、顧客店社に対し料金折衝をおこなっている最中であるが、思ったような成果には至っていない。

一時金算式については従来通りの基本とし、労組要求に基づき乗率を重視してい考えである。また、勤続年数等を考慮した回答も考えている。

【日検協会】

新型コロナウイルス感染症、世界的な原油高、日本の不安傾向などの影響を致す主要取扱貨物が減少している中で、計画ではある支部から支部が計画比未達となっている。協会の取り巻く環境は厳しいものとなっているが、従業員の期待に



次回：第4回22冬季一時金交渉
 11月25日(金) 13:30~

有額回答指定日

要注目！

支援金』を検討するよう求める。
 『一時金回答算式については従来通りを考えている』とあるが、率直にこれまでの主張を受け入れたいという思いがある。有額回答指定日まで時間的な猶予がある分、一度、組合要求に沿った回答の構築を求める。現在の社会情勢を鑑み、これまでの業績あきの一時的支給ではなく、生活に根ざした一時金を求める。

スト権が91%の高率で確立した。それだけ、諸物価高騰による生活苦や、今冬季一時金にかけられる組合の期待が重いのとなっている。両協会はその重みを十分に受け止めた回答を構築するべきである。このわけ、支部間の業績の良し悪しを重視した極端な格差回答は認められない。